

インカムは今、ライダー&タンデムで計8名、通信距離は1000mくらいが最大で、それ以上ライダーが集まったり、数キロや数十キロ離れるとインカムだと共有ができなくなる。「BT TALK」はインカムではなくアプリで、例えばLINEのようなもの。グループを作りスマホを通して人数無制限で音声を届けられる。LINEは聞く話すを同時に出来るが負荷がかかると切れやすい。一方、BT TALKは、回線の安定性を優先して、ボタンを押している間に話したことがグループ内の全員に配信されるタイプになっている。走行時にこのアプリを使って話すにはインカムが必要となるが、インカムの機能と違って人数や距離というハードルがないのは大変魅力的だ。アプリのダウンロードは無料(通信料別途)なので、まずは一度試しに使ってみてはいかがだろうか。



アプリをダウンロードしたのちグループの登録を行う。グループを選択し、アプリの八角系のボタンを押して話せば、その登録グループ全員に声が送れる。



BT TALKに対応した専用ハンドルボタン「BTTボタン(7,560円)」。バイクではアプリの八角系のボタンの代わりに押してグループに声を送れる。



アプリの地図上で、グループのメンバーが今、どこにいるか表示される。これさえあれば逸れることはなくなる。

問◎株式会社LINKS ☎075-708-2362
https://midlandradio.jp/

MIDLAND BT TALK



人数・距離無制限で話せる
無料のスマホ通話アプリ

走行中などにBT TALKを使って声を送ったり聞くには、インカムの機械自体は必要となる。今回、BT TALKを出しているMIDLANDから最新のインカム技術が発表された。それは、インターカム通話中のエンジン音、風切り音、ロードノイズを最大で約1/10まで削減し、バイク乗車時のインターカム通話をよりクリアで聴きやすくするという技術。インターカム本来の機能である通話の音質に徹底的にこだわったシステム。2018年初夏、なんとミッドランドHPにて無料配信予定とのことだ(※BT PROシリーズが対象)。



ホーチ型のホルダーは、スマホの操作がしづらかったり、チャックの開閉が面倒だったりするが、このUAスマートフォンケースは、iPhoneとGalaxyの専用ハードケースになっているので他の機種は使えない反面、それらの機種での使い勝手は抜群だ。防水機能はもちろん、スマホもケース上からでも非常に操作しやすい。そして、専用アタッチメントであれば取り外しが楽で、なんとケースに収納した状態で通話や撮影、音楽再生、音量調整が可能なのだ。まさに、普通のスマホケースをポンとバイクに付けているかのごとく利便性の高いスマホケースだ。

ケース内にバッテリーを入れるスペースはないが、画像のようにコネクタのラインも曲げずに収納可だ。



専用クイックリリースマウント(別売)は、ワンプッシュするだけでホルダーを簡単に取外しできる。

フィットが抜群で、スクリーン上からタッチ画面対応グローブでのスマホ画面操作がストレスなくできる。



専用設計なのでスクリーンの歪みもなく、スクリーン陰が付くことがないので画面がとても見やすい。

問◎株式会社LINKS ☎075-708-2362
https://midlandradio.jp/

UA SMARTPHONE CASES



※画像はiPhone6/6S/7/8専用モデル

専用設計でフィット感抜群の
全天候型スマホハードケース

使用感

付けただけで音声調整が出来、ワンプッシュでケースを外してすぐに撮影もできるしスマホの画面もすごく見やすい。DCソケット装着車なら間違いなく買いた。

- ・iPhone 6/6S/7/8 専用モデル 4,320円
 - ・iPhone 6 Plus/6S Plus/7 Plus/8 Plus 専用モデル 4,644円
 - ・iPhone X 専用モデル 5,184円
 - ・Galaxy S7 専用モデル 4,320円
 - ・Galaxy S8 専用モデル 5,184円
 - ・Galaxy S8 PLUS 専用モデル 5,292円
- ※別売りで各種マウントあり。 ※価格は全て税込



人気のポールマウント・アダプター。ステムやハンドルホルダーに装着が出来、スポーツバイクでも◎。